



# はじまり

2011.7.30



これは、私(ハムネス)の思い描く、“中今のハム(白)山”の表情です^^

まるで子どものお絵かき?! (笑)ですが

とても深い——、“新しい白山”の姿だと思います

はじまりは、2011年7月30日、Ai先生との強い絆のもと、“愛の祈り”とともに、白山へ登った事からです  
登頂後のセッション(8月3日)を終え、中今の白山のイメージを、ワードを使って、表現しました!

(\*^^\*)

セッションのはじまりに Ai先生は、「今の白山は、あなたが着ている、その洋服のよう!!!」

そうおっしゃって、微笑んで下さいました^^

自身が白山に登ったことで、一体何が、どうなったのか??

その時の私には、まったく理解できていませんでしたが、

その場の全て、白山の全てが  
この上もなく 優しく、あたたかく、清々しいエネルギーに満たされていて  
もう、ただただ嬉しくて仕方がない。。。。

**幸せのど真ん中——！！！！**という感じです

過去も未来も、あらゆる全てが“今ここ”にある、永遠の今！

無限の可能性、奇蹟に満ちた、究極の光(希望)の真っ只中——！！

(それは“中今”と言われる、神道の奥義なのでした^^)

その日は、白地に花柄模様の、当時の自身にしては珍しい？

明るく、女性らしい洋服を選んで着ていて

その花の一つひとつが“真っ赤なハート” = “ハム”に見えてきました！



創造の源、あらゆる全ての生みの親なる“根源の母神”のハートのかげら

“根源の究極の愛”から生まれ出た、

尊い、かけがえのない“根源の愛の子供達”です！！

宇宙の創始、それはまるでハート型のハムスターのように見えたことから

親しみを込めてつけられた名前です^^

自身の中にある、ハムで一杯になった白山を描こうとワードを立ち上げたのですが

何故か“真っ赤なハート”が、次から次へと顕れてきます？！

(画面上には何も見えないのですが、クリックするとハートの図形が表れます?)

えっ？ 今初めて開く、新規作成画面だし、  
自身は“白いハート”など、描いていない…、(描く意味がない)  
不思議で仕方ありませんでしたが

それが白山からの、少し切ないメッセージであったのだと、今、真に理解できる気がします

その時広げた、まだ何も描かれていない、真っ白なキャンパス(画面)には  
白山の女神の、悠久の、深い愛の願いが込められていた…

2013年という年が明け、こんこんと降り積もる庭の雪を眺めながら

一人静かに、白山に思いを馳せていました

真っ白な雪のように、限りなく神聖で、精妙な次元…。

自身の魂奥深く沈んでいくことでしか、決してたどりつけない聖域 ——

白山は地球の創始、“根源の愛と神聖”を具現するための

クリスタルピラミッド(根源の光が物質化したもの)であり

究極の“愛”(赤)と“光”(白)の、巨大な増幅装置でもありました！

その赤(核心=愛)を見失ってしまった、旧地球史の象徴、

それが“白いハート”の意味するもの——

小さな、真っ赤なハムが、白いハートを赤に塗り替えた！！

## “中今のハム山”

今、“白山”は、世界の山々(大地)を、根源の愛の光で包む“ハム山”となり

新しい地球に生きる全ての命を、優しく見守り、育む母性の輝き！

真の白山へと帰り来た！！

どれほどこの時を、待ち望んできた事でしょう

霊峰 白山 先哲の至誠が、無限に花開いてゆきます！(\*^^\*)

上記コンテンツは、登山後1年以上経った後に作成したものです

自分のやっている事の、真の意味がわかってくるまでに、ものすごく時間がかかるのです(笑)

(ハイアーセルフや高次の願いを、地上セルフが理解し、消化するための時間)

白山登頂後、とりあえず作成したレポート(報告書)を見ると、一面黒一色で、

添付写真の一枚もなく(写真を撮る気がまったくなかった、笑)、なんとも味気ないものでした

アカデミーで学んでいくうちに、自己の経験=進化の過程を、他の方に

その体験(エネルギー)が少しでも伝わるようにシェアする事が、とても大切であることを理解しました

アセンションは結果ではなく、その過程に意味があり、そのために一旦全てを忘れて、この地上に生まれてきた!

とも言えるのだと思います

レポートの内容としては、下記です^^

- ・この白山登山は、Ai先生(根源母神)との出会いと、そのサポートのもとにあった事が何よりも重要で、登山までのやりとりの中で(また、それまでの数々の学びの中で)、

私は“根源母神”の深い愛のエネルギーに触れ、包まれ、育まれ、根源を思い出していた?

その大きな喜びと感謝、命あるもの全てに対する“愛の祈り”だけで、ただひたすら登った白山だった

- ・当日の朝は、自家用車から一歩も降りられない程の、ものすごい土砂降りだったので

延期しようか?との思いが、チラリと頭をかすめたが、時間を遅らせて決行した(過去の登山経験より)

- ・リュックサックには、Ai先生からいただいた“生田神社の御札”(稚日女尊=天照神の幼少の姿)があり行程の途中から、そのお札に頼る、という気持ちではなく、背負う!自身へとシフトしていった

- ・私はひとりじゃない!白山は、泰澄大師をはじめとする多くの先達の誠によって、護り伝えられてきた偉大なる聖山であり、地上セルフはその願いのポータル!一歩一歩が感謝でしかない、と感じた

- ・頂上付近、私の前を山伏風の方が数名、「六根清浄」の掛け声を響かせながら歩いているのが目にとまった登頂と同時に、ほら貝が鳴り、神事がはじまったので、少し身構えてしまったが、祝詞の中に

“泰澄大師”等の馴染みの言葉があり、何となく安心して、私も参加させていただいた

- ・ずっと降り続いていた雨がやみ、青空に太陽が顔を出し、その場があたたかな太陽の時空となった

精神的にも、肉体的にも、地上セルフにとっては大変な登山でしたが

それ以上に、根源の「愛にはじまり、愛に終わる——」、これまで経験したことのない、貴重で感動的な一日でした

体験を文章に書き出してみると、偶然という言葉で片づけてしまっている“必然”

=見えない世界(ハイアーセルフや高次元存在)からの導きが見えてきて、さらに感動が増していきました

これが、アセンションの醍醐味でもあるのかもしれません^^

真の自身を発見する喜び、NMCAA(ニュー・マクロ・コスモス・アセンション・アカデミー)との出会い

根源の、“究極の愛の絆”の目覚め=Ai先生(根源天照皇太神地上ポータル)との出愛(Ai)

共に愛の絆の中で学ぶ、根源の家族との出愛に、心から感謝申し上げます(\*\*^^)